

『文化庁地域創生本部と研究交流に関する協定締結！』

2017年12月17日

2017年12月17日同志社大学今出川キャンパスにおいて文化庁地域文化創生本部(宮田亮平文化庁長官)と同志社大学(松岡 敬学長)の研究交流に関する包括協定の調印式が行われました。

昨年11月に文化庁が「文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業」を公募し、同志社大学創造経済研究センターが第一号として採択されました。12月6日に本学にてキックオフシンポジウムが行われ、共同研究が開始されています。この共同研究の実施を契機に、今後の更なる連携強化を目指し、包括協定を締結することになりました。本協定により、今後文化庁地域文化創生本部と同志社大学が相互の人的、知的、物的資源の交流と活用を図り、研究に関わる交流や情報交換を促進させていくこととなります。

なお、文化庁がこのような包括協定を大学と締結するのは初めてです。



『「楽真館」の竣工式を挙げる』

2017年9月19日

2016年9月より建て替え工事を行っていた今出川キャンパスの「楽真館」が完成し、竣工式が挙行されました。オルガンの前奏で始まった竣工式は厳かな雰囲気に入れ、八田英二総長・理事長と加賀裕郎学長の挨拶が行われました。また、ご列席いただいた門川大作京都市長にはご祝辞を頂戴しました。

楽真館には、学生の能動的学修を促すラーニング・commonsを備えており、学生の成長が期待されます。



『英語学習AIロボットMusio教室』

2017年10月1日～

Musioは、自ら考えて会話ができ、会話内容を進化させていくAIロボットです。開発元のAKA社の協力により、10月から世界初のAI英語学習ロボット専用教室を設置し、英語授業で活用しています。



■ 香里中学校・高等学校

『2017年度文化祭「#香里なうに使っていいよ」』

2017年11月4日



2017年11月4日（土曜日）約2,000名の来場者を迎え盛大に開催。



『X'masツリー一点灯式』

2017年11月15日

2017年11月15日(水曜日)聖歌隊の讃美の中、点灯式を行った。

■ 女子中学校・高等学校

『同志社女子中高の語学研修』

夏季語学研修として、例年、中学2年生と3年生の約30名を対象としたオーストラリア語学研修(12日間)と、高校2年生と3年生の約30名を対象としたイギリス語学研修(15日間)を実施しています。そして、2018年3月より、中学1年生27名程度を対象とした2泊3日のスプリング イングリッシュ キャンプを新たに実施することになりました。



イギリス語学研修



オーストラリア語学研修

『中学体育祭』

2017年9月16日



全学年が4クラスにそろったので、はじめて4クラス対抗で競いあった。

『École Jeannine Manuel 交換プログラム』

2017年10月31日



フランスのパリにある学校との交換プログラムで来校した留学生と交流をした。

■ 小学校

『京都市小学校「大文字駅伝」本選出場決定！』

2017年11月11日

第32回京都市小学校「大文字駅伝」大会 国立・私立小学校・民族学校支部予選会においてAチームが準優勝、Bチームが3位となり、2018年2月11日(日)に開催された第32回京都市小学校「大文字駅伝」大会に出場しました。



初等部：1年生宿泊学習

2017年10月13日～10月14日

入学して初めての宿泊学習として、学校でのお泊りを体験しました。緊張と不安でいっぱいでしたが、芋掘りやゲームをしたり、寝袋でみんなと一緒に寝たりして、楽しく過ごす中で少し成長できました。



国際部：第4回 同志社 プレゼンテーション大会 ～立石杯～

2017年9月18日

DISK students Hinata Nakamura, Ellis Arimitsu and Evan Arimitsu won the first prize in the Junior High School International Division. Their winning speech was titled "Three Perspectives of Peace".



幼稚園

『収穫感謝祭』

2017年11月14日



子ども達が自宅から持ち寄った、沢山の野菜や果物を囲み、収穫感謝祭を行った。神様に、身近な収穫物や自然物の恵を感謝し、礼拝を守った。

『クリスマス 礼拝・祝会』

2017年12月13日



寒梅館にて、クリスマス礼拝・祝会を行った。年長組による降誕劇の後、祝会では全園児によるオペレッタと賛美歌を披露した。厳粛な中でも、子ども達の笑顔と元気な声が響き、皆でイエス様のご誕生を喜び、お祝いすることができた。(詳細は「同志社ナウ」(47ページ)にて)

インタビューの2人

私の志
(本文4~7頁)

古屋俊和さん

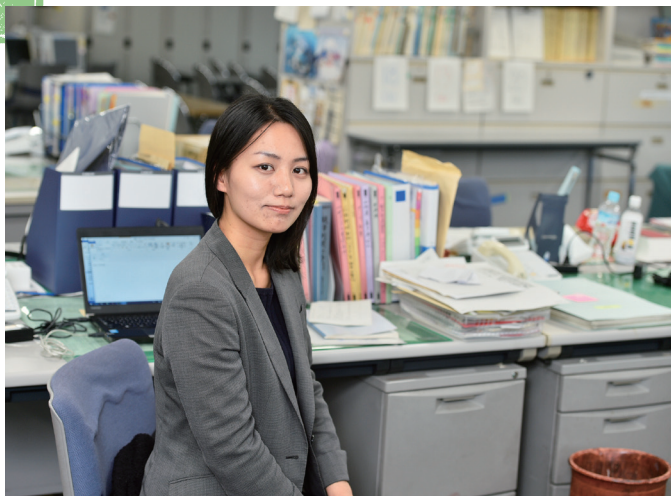
広島県生まれ。2010年文化情報学部卒業、2012年京都大学経営管理大学院在籍時にデータ解析専門の会社を創業。テキストマイニングを用いた株の運用システム、医療診断支援システム、人工知能を用いたレコメンデーションシステムの開発等手がける。2014年京都大学情報学研究科博士課程在籍時にDeep learningとGraphLassoを用いた肺結節判別の研究を行う。2016年元DeNA会長の春田氏と共に、関西発の人工知能専門ベンチャー株式会社エクサイゼンテリジエンス(現・株式会社エクサイザーズ)を創業。



データサイエンスを学んだことによって今があり、ベンチャー企業を立ち上げられました。文化情報学部での勉強は私の原点です。

川嶋かえさん

東京都生まれ、大阪府育ち。同志社大学法学部政治学科に入学。在学中は、公益財団法人大学コンソーシアム京都が主催する京都国際学生映画祭の実行委員として活動した。2016年卒業後、朝日新聞社入社と同時に千葉総局へ配属され、現在に至る。担当した重大事件は、2017年に我孫子市で発生した女児殺害事件と、睡眠導入剤を混ぜたお茶を同僚に飲ませたとして、同年に印西市の老人ホームに勤務する准看護師が逮捕された事件。



記者の仕事は基本的に一人なので、孤独を感じることも。車内ではその時の状況に合ったファイティングソングをかけ、元気を出して取材に向かいます。